



下香貫と大平をつなぐ！ ～トンネル設備の整備始動～



トンネル工事 最終段階へ！安全を支える役者たち

沼津アルプストンネルは、掘削作業が完了し、いよいよ設備や舗装工事を始めました。延長が1kmと長いので、安全で快適なトンネルとするためには、どれも欠かせない設備です。

ラジオ再放送設備

トンネル内でラジオが聴けるようになります。非常時には、割り込み放送を行うことができます。

非常電話



非常時に警察や消防に電話連絡するものです。200m 間隔で設置します。

誘導表示板



トンネル利用者をトンネルの外へ誘導します。

消火栓・消火器



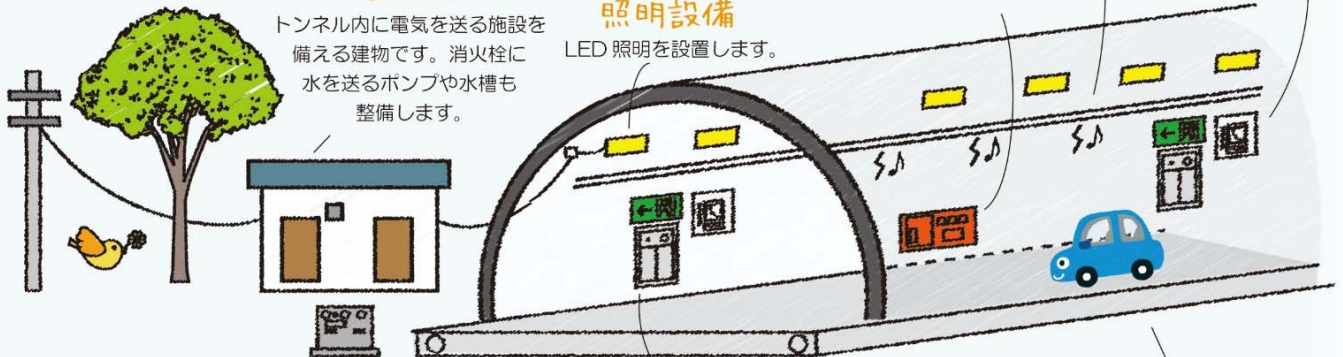
火災発生時の初期消火に使用するものです。50m 間隔で設置します。

電気室

トンネル内に電気を送る施設を備える建物です。消火栓に水を送るポンプや水槽も整備します。

照明設備

LED 照明を設置します。



非常警報装置

トンネル内の火災や事故を知らせ、被害を最小限におさえます。トンネル入口に設置します。



給水栓



消防が本格消火に使用するものです。トンネル入口とトンネル内に200m 間隔で設置します。

押しボタン式通報装置



非常時にボタンを押すと警察や消防、道路管理者へ自動通報されます。50m 間隔で設置します。

舗装

トンネル内は暗いため、黒いアスファルト舗装ではなく、白いコンクリート舗装を採用し、より明るく見えます。

静浦バイパスとは？



国道 414 号の慢性的な渋滞を緩和するため、沼津市下香貫から伊豆の国市江間を結ぶ「静浦バイパス」を整備しています。現在は、下香貫地区から大平地区の 2.5 km 区間の整備を優先的に進めており、昨年 2 月に沼津アルプストンネルが貫通しました。今後は大平側の高架橋やトンネル内の設備工事等を進め、2020 年台前半の開通を目指します。

